

指定管理者制度導入施設 モニタリングシート

施設名称	沖縄空手会館	対象年度	令和5年度
------	--------	------	-------

【 目 次 】

I.	履行確認・評価	
1.	維持管理業務	1
	(1) 清掃	
	(2) 保守・点検	
	(3) 保安・警備	
	(4) 小規模修繕	
	(5) 備品購入	
	(6) 防犯・防災対策	
	(7) 料金徴収業務	
2.	運營業務	5
	(1) 利用実績	
	1) 利用者数等（又は入居率等）	
	2) 施設稼働率	
	3) 教室・イベント等参加者数	
	(2) 運営企画	
	(3) 受付・接客	
	(4) 広報	
	(5) 情報管理	
3.	自主事業	7
II.	サービスの質の確認・評価	9
III.	財務状況の確認・評価	11
1.	事業収支	
	(1) 収入	
	(2) 支出	
2.	経営分析指標	
IV.	総合評価	13
1.	目標	
2.	評価結果	
附表	経営状況分析シート	14

指定管理者制度導入施設 モニタリングシート

施設名称	沖縄空手会館	対象年度	令和5年度
指定管理者	沖縄空手振興推進パートナーズ (構成企業:OTS MICE MANAGEMENT(株)、沖縄ビル管理(株)、(有)西原農園、(株)セイカスポーツセンター) 指定期間:令和5年4月1日～令和8年3月31日(3年間)	所管課	文化観光スポーツ部 空手振興課

I. 履行確認・評価

1. 維持管理業務

(1) 清掃

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
(日常清掃) 通常清掃の他に、職員による巡回清掃を実施する。	○	○	業務委託による2名体制で実施。 ・施設内全てのトイレ・洗面所・シャワー室、道場棟・特別道場・展示棟の床面、廊下、倉庫等を毎日清掃。 ・その他、職員による各種清掃、敷地内の巡回清掃などを毎日実施。 ・道場施設、展示施設、特別道場は催事開催前後に清掃を実施する。	道場施設、展示施設、駐車場、園路の清掃状況を確認するとともに、委託契約書、清掃業務の報告書の確認等を実施。 日常清掃は、業務委託及び職員により毎日清掃が行われており、各施設は清潔に保たれている。	報告書のとおり、適切に実施されている。	良好に実施されている。引き続き施設内の衛生管理の徹底に努める。
(定期清掃)		○	①年1回実施。 ・フローリング床面、座席(武道棟及び展示等全体)。 ・磁器タイル、琉球石灰岩(武道棟及び展示棟の風除室)。 ・絨毯床面(展示棟) ②年2回実施。 ・ガラス面(道場棟及び展示棟)	現場の確認、委託契約書、清掃業務の報告書の確認等を実施。 定期清掃では、無垢木材にも配慮した方法で清掃が実施されている。	報告書のとおり、適切に実施されている。	良好に実施されている。引き続き施設内の衛生管理の徹底に努める。

(2) 保守・点検

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
【環境衛生】 施設を安全に運用するために衛生設備の管理を徹底する。		○	【残留塩素測定】 週1回(飲料水・雑用水) 【貯水槽の清掃・点検】 年1回 【空気環境の測定】 年6回 【鼠・昆虫等の除去作業】 年2回 【水質検査】 ・飲料水、年1回 ・雑用水、年6回 。簡易専用水道 法定検査、年1回	環境衛生業務の報告書、委託契約書等の確認等を実施。 環境衛生面では、委託事業者による定期点検が行われていることを確認した。	報告書のとおり、適切に実施されている。	法定の基準のとおりに、検査・清掃が実施されており、適正に対応している。 引き続き施設内の衛生管理の徹底に努める。
【電気設備】 電気設備の点検等を実施し、管理を行う専門スタッフを配置する。		○	沖縄ビル管理(株)による月次・年次点検を実施。	環境衛生業務の報告書、委託契約書の確認等を実施。 環境衛生面では、委託事業者による定期点検が行われていることを確認した。	報告書のとおり、適切に実施されている。	良好。 引き続き施設内の衛生管理の徹底に努める。
【植栽管理】 園路・植栽管理について、植栽の状態を確認しながら適宜対応を行う。	○	○	(有)西原農園による毎月の除草作業に加え、委託業者による日々の除草作業を実施。	環境衛生業務報告書、委託契約書の確認等を実施。 植栽管理面では、植栽の状態を考慮した、指定管理者の対応と委託事業者による管理が行われていることを確認した。	報告書のとおり、適切に実施されている。	極めて良好に実施されている。 引き続き施設内の植栽管理の徹底に努める。

(3) 保安・警備

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
<p>・開場時間については常駐スタッフを配置。</p> <p>・防犯、防災、出入管理だけでなく、防災機器の監視など事故・犯罪を未然に防ぎ、安全かつ快適な環境を提供する。</p>						
【開館日】		○	1名体制による警備を実施。 (午前8時半～午後5時15分、休憩1時間)	指定管理者へヒアリング、警備日誌の確認を実施。 ・開館日及び閉館日の日中には警備員が常駐しており、夜間は室内センサーによる機械警備が実施され、異常があった場合に警備員が急行する体制が構築されている。	報告書のとおり、適切に実施されている。	良好。 引き続き施設内の安全確保の徹底に努める。
【閉館日】		○	常時1名体制による警備を実施。 (午前8時半～午後9時半)			
【夜間】		○	<ul style="list-style-type: none"> ・機械警備を実施。(午後9時半～翌8時半) ・夜間25時頃に巡回点検警備を実施。 			

(4) 小規模修繕

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
<p>施設修繕は、早めの修繕を実施し、大規模修繕に繋がらない対応を行う。</p> <p>【修繕】 1件につき20万円未満の修繕については、指定管理者が実施。</p>		○	<ul style="list-style-type: none"> ・道場施設自動ドア不具合の修繕。 ・駐車場入口ポール破損交換。 ・道場施設事務所蛍光灯の不具合修繕。 ・正面玄関床破損修繕。 ・電気室扉修繕 ・控室空調不具合対応(部品交換) 	補修箇所を確認したほか、修繕等施設管理業務の報告書等の確認を実施。	報告書のとおり、修繕等の対応が適正に実施されている。	良好。 今後とも、不具合等が発生した際には、迅速に対応し施設機能の維持に努める。

(5) 備品購入

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
	○		・ワイヤレスマイク 2本	修繕等施設管理 業務の報告書等 の確認を実施。	報告書のとおり、 適切に実施され ている。	良好に実施されている。

(6) 防犯・防災対策

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
職員等による防 犯、応急手当の訓 練実施。	○		・消防設備点検 実施(5/24)。 ・道場棟における 消防訓練・避難 訓練を実施 (8/28)。特別道 場より出火したこ とを想定し、通 報・避難誘導・消 火栓放水訓練を 実施。3/13にも避 難訓練実施。	業務の報告書等 の確認を実施し、 危機管理マニユア ルの整備状況、消 防署への報告書を 確認した。	報告書のとおり、 適切に実施され ている。	良好。 消防訓練が適切に実施さ れている。 引き続き、適切な防犯・防 災対策に取り組むこと。

(7) 料金徴収業務

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
施設利用料金、観 覧料の收受	○		【道場施設】 窓口にて職員が 料金徴収を行っ た。 【展示施設】 券売機を設置し、 両替対応及び領 収書の発行等につ いては受け塚 カウンター職員が 対応した。 【屋外鍛錬場、特 別道場前庭、特 別道場】 管理事務所窓口 にて職員が料金 徴収を行った。	券売機(道場施設 入口、資料室入 口)の設置、稼働 状況、收受した現 金の管理方法等を 確認した。	報告書のとおり、 適切に実施され ている。	良好に実施されている。 今後とも、不具合等が発生 した際には、迅速に対応し 施設機能の維持に努め る。

※必要に応じて項目を追加・削除して記入すること。

※「事業計画」欄は、当初の年間事業計画を記載するものとし、変更した場合には変更後の内容も記載すること。

※「現状分析・課題」欄は具体的に記入すること。

1. 維持管理業務 取組改善案	維持管理業務について、適切に実施されている。今後も来館者が安全・安心に利用できる よう施設の適切な維持管理に努める。
--------------------	---

※「1. 維持管理業務」の各項目の「現状分析・課題」等を踏まえて、現年度($\alpha+1$ 年度)の主な取組改善案を記入す
ること。

2. 運営業務

(1) 利用実績

1) 利用者数等

			令和4年度実績	事業計画 (目標値)	令和5年度実績	整合性の検証		現状分析 ・課題
						前年比	計画比	
利用者数	道場施設 (専用)	道場 (専用利用)	388団体	270団体	398 団体	102.6%	147.4%	【道場施設】 共用利用以外は実績値が事業計画を上回っている。令和5年3月19日まで共用利用を中止していた影響が若干残っているが、専用利用に関しては前年度・目標と比較し利用人数が上回っている。
		鍛錬室 (専用利用)	903団体	910団体	1,033 団体	114.4%	113.5%	
		研修室 (専用利用)	1,059団体	980団体	1,103 団体	104.2%	112.6%	
		小会議室 (専用利用)	428団体	390団体	649 団体	151.6%	166.4%	
		道場施設(専用)平均				118.2%	135.0%	
	(道場 共用)施設	道場 (共用利用)	8人	2,134人	669 人	8362.5%	31.3%	—
		鍛錬室 (共用利用)	1人	1,208人	228 人	22800.0%	18.9%	
	展示施設	一般(個人)	2,790人	1,841人	3,994人	143.2%	216.9%	【展示施設】 ・いずれも前年度を上回っているが、目標値に達していない項目もある。 ・企画展の開催が実績増に繋がった。
		一般(団体)	414人	827人	473人	114.3%	57.2%	
		高・大学生 (個人)	136人	338人	255人	187.5%	75.4%	
		高・大学生 (団体)	34人	55人	38人	111.8%	69.1%	
		小・中学生 (個人)	368人	759人	612人	166.3%	80.6%	
		小・中学生 (団体)	845人	327人	752人	2593.1%	230.0%	
		シルバー (65歳以上)	586人	2,544人	1,112人	333.9%	43.7%	
展示施設合計		5,173人	6,691人	7,236人	139.9%	108.1%		

【評価基準 (①利用状況)】

目標値に対する達成率

S : 110%以上

A : 100%以上、110%未満

B : 80%以上、100%未満

評価(①利用状況)

S

※道場施設(専用利用)

評価(①利用状況)

A

※展示施設

2) 施設稼働率

(%)

			令和4年度実績	事業計画 (目標値)	令和5年度実績	整合性の検証		現状分析 ・課題
						前年比	計画比	
稼働率(道場主要施設)			52.4		83.0	158.4%		良好である。

施設稼働率を①利用状況の評価項目とする場合に本欄を使用する。

評価(①利用状況)

S

【評価基準 (①利用状況)】

目標値に対する達成率

S : 110%以上

A : 100%以上、110%未満

B : 80%以上、100%未満

C : 80%未満

(2) 運営企画

事業計画	実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	(事業報告書)	(現地確認)		
〈開館日数〉 休館日以外	・水曜日 ・12月30日～翌1月3日	指定管理者へのヒアリングのほか、月報により確認。	報告書のとおり適切に実施されている。 【臨時休館】 6/1 【開館時間変更】 4/23,29 7/9,23 8/14-20 9/9,10 10/1,6,21,22 11/5,14 12/3,17 1/13,14,20,21 2/3,4 3/17,20,24,30	良好に実施している。引き続き、利用者への適切なサービス提供に努める。休館日の臨時開館及び開館時間の変更については、引き続き条例に基づき適宜協議すること。
〈開館時間〉 ・展示施設:9時～18時 ・上記以外:9時～21時	【展示施設】 9時～18時 【上記以外】 9時～21時			

(3) 受付・接客

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
<p>【専用利用】 随時、館内掲示、HPにて施設の空き状況を確認できるようにする。利用申請については、HP予約システムやFAX等にて受付を行う。支払いは前払いとしている。</p> <p>【共用利用】 施設に空きがある場合は、随時受付を行う。少人数で気軽に利用する機会を提供する。実施にあたっては、安全性を確保した定員数及び基準の利用枠を設定し、HPにて空き状況が確認できるようにする。</p>	○		<p>【専用利用】 沖縄空手会館利用規程に基づき、公平に提供した。空き状況は予約システムから確認できるようにしている。</p> <p>申請受付は窓口だけでなく、HP予約システム、FAX及び電子メール等でも対応している。前払い制にて利用許可としている。</p> <p>【共用利用】 事業計画のとおり対応した。</p>	指定管理者へのヒアリングにより確認した。	報告書のとおり、適切に実施されている。	良好。引き続き、利用者への適切なサービス提供に努める。

(4) 広報

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
行政機関、関係団体、民間企業、マスコミ等との連携	○		TV、ラジオ、雑誌等様々な媒体にて広報を実施した他、豊見城市事業による県外広報も実施。計10件。	報告書及び指定管理者へのヒアリングにより確認。	報告書のとおり適切に実施されている。	良好。ターゲットとする幅広い年齢層に応じた広報を工夫するなど、効果的な広報に努める。

(5) 情報管理

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
個人情報の漏洩、滅失及び棄損の防止、その他個人情報の適正管理に努める。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報保護法及び沖縄県個人情報保護条例を踏まえ、利用者、職員、取引先等の入手した個人情報を安全に管理し適切に運用 ・個人情報保護7つのポイントに基づいた取組により、安心安全な管理体制を構築 ・情報の開示請求については、沖縄県の要請に応じ、調整を図りながら公開請求に応じている。 	報告書及び指定管理者へのヒアリングにより確認。	報告書のとおり適切に実施されている。	良好。 引き続き適切な情報管理に努める。

3. 自主事業

事業計画	実施主体 (該当者に○印)		実施内容		整合性の検証	現状分析・課題
	指定管理者	委託業者	(事業報告書)	(現地確認)		
【レストラン】 ・収入 6,000千円	○		<ul style="list-style-type: none"> ・期間限定メニュー開発やクーポン配布によるリピーター獲得に注力。 ・団体や旅行会社と連携して観光客の利用促進。 《収入実績》 9,021千円 《執行率》 150.4%	報告書及び指定管理者へのヒアリングにより確認	報告書のとおり適切に実施されている。	<ul style="list-style-type: none"> ・徐々に利用率が上昇し、創意工夫により事業を実施し、計画を大幅に上回った。引き続き、各事業において施設利用者の利便性の向上に努める。 ・レストラン事業においては、期間限定メニューの開発やLINEクーポン配布等を実施。リピーター獲得に力を入れた。また、施設利用団体の昼食会場としてのご利用の提案等も行った。 ・初めて空手に触れる観光客をメインターゲットとした瓦割り体験、道場施設利用者を対象とする弁当手配代行や会場設営撤去サービスを行った。 ・売店事業では、令和5年4月13日より営業再開。休業中に強化したオンラインストアは継続しながら、海外客向けに実店舗の商品ラインナップを増やすなど店舗販売に力を入れ、収入は前年度を大幅に上回った。 ・空手体験プログラムでは、旅行会社からの問い合わせが増加し、海外からの修学旅行や団体の空手体験プログラム実施においては、沖縄伝統空手道振興会とも講師派遣において連携した。また、空手体験プログラムは事前予約制で1名から体験可能とした。
【その他】 ・収入 0千円	○		<ul style="list-style-type: none"> ・観光客を対象とした体験・お弁当手配代行・会場設営/撤去の代行を実施。 《収入実績》 6,228千円 《執行率》 —			
【売店】 ・収入 6,000千円	○		<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年4月13日営業再開。より休業。 ・オリジナル商品の店舗販売実施。 《収入実績》 11,670千円 《執行率》 194.5%			
【空手体験プログラム】 ・収入 1,000千円	○		<ul style="list-style-type: none"> ・旅行会社からの問い合わせ増加。 ・振興会と連携して実施。 《収入実績》 1,246千円 《執行率》 124.6%			

※「事業計画」欄は、当初の年間事業計画を記載するものとし、変更した場合には変更後の内容も記載すること。

※「現状分析・課題」欄は具体的に記入すること。

<p>2. 運営業務 3. 自主事業 取組改善案</p>	<p>運営業務においては、施設利用の活性化、効果的な広報活動を目指す他、アンケート結果等を踏まえたアフターフォローを行うことにより、利用者満足度の向上に取り組む。 自主事業においては、利用者の満足度を高めるとともに安定的な運営ができるよう引き続きサービス内容の改善・向上に取り組む、利用者の利便性向上を目指す。</p>
--------------------------------------	---

※「2. 運営業務」「3. 自主事業」の各項目の「現状分析・課題」等を踏まえて、現年度($\alpha + 1$ 年度)の主な取組改善案を記入すること。

II. サービスの質の確認・評価

アンケート実施方法		利用者に対し、窓口にて依頼		回答者数	208	アンケート内容	別紙参照
評価項目		第三者(利用者等)評価			指定管理者	現状分析・課題	
		令和4年度評価	令和5年度目標	令和5年度評価			
維持管理業務	施設・設備管理(備品の充実度)	<満足度>64% ・とてもよい 37.8% ・よい 26.2% ・普通 11.6% ・よくない 0.0% ・不満足 0.0% 今回は利用していない 24.4%	<満足度>	<満足度>78.2% ・とてもよい44.4% ・よい 33.8% ・普通 8.1% ・よくない 0.0% ・不満足 0.0% 今回は利用していない 13.8%	B	備品の維持管理を引き続き行う。 ・満足度が昨年度より向上した。 ・利用者からは、備品の配置状況に関する意見があり、きめ細かい対応が必要である。	
				<意見・要望等> ・テーブル・イスを会場に入れてもらえると助かる ・時々テーブル・イスが会場に置かれたままのことがある ・様々な用途に対応している。			
運営業務	利用条件(利用した感想)	<満足度>85.8% ・非常に利用しやすい 54.3% ・利用しやすい 31.5% ・普通 14.1% ・あまり使い勝手が良くない 0.0%	<満足度>	<満足度>94.6% ・非常に利用しやすい 68.4% ・利用しやすい 26.2% ・普通 5.3% ・あまり使い勝手が良くない 0.0%	S	満足度(非常に利用しやすい・利用しやすい)が90%を超えた。 ・満足度が9割を超え、設備や利便性、清潔感への評価が高い。 ・スタッフの対応も好評である。 ・今後も利用しやすい施設として、ニーズに応じた運営を行う。	
	利用条件(利用手続き)	<満足度>76.7% ・とてもよい 42.1% ・よい 34.6% ・普通 23.4% ・よくない 0.0%	<満足度>	<満足度>87.4% ・とてもよい 54.5% ・よい 32.9% ・普通 12.6% ・よくない 0.0%	A	満足度が85%を超えた。 ・利便性への評価が高い。 ・引き続き、利用者の意見を反映させた運営を行う。	
	自主事業(レストラン)	<満足度>77.4% ・満足 56.6% ・ほぼ満足 20.8% ・普通 22.6% ・やや不満 0.0% ・不満 0.0%	<満足度>	<満足度>77.9% ・満足 52.9% ・ほぼ満足 25.0% ・普通 20.6% ・やや不満 0.7% ・不満 0.7%	B	・道場施設利用者のレストラン利用は昨年度と同程度。 ・令和6年度は土日祝日のそば提供時間を延長し、そば以外のメニューを増やす。 ・満足度は前年度並みである。 ・営業時間やメニュー等様々な観点から工夫をすることで、顧客満足度の向上を図る。	
	自主事業(売店)	<満足度>53.4% ・満足 36.2% ・ほぼ満足 17.2% ・普通 46.6% ・やや不満 0.0% ・不満 0.0%	<満足度>	<満足度>77.2% ・満足 63.6% ・ほぼ満足 13.6% ・普通 21.8% ・やや不満 0.9% ・不満 0.0%	A	令和4年4月13日から営業を再開。国外からの来館者も増えたことで売上も増加。越境ECサイトを継続しながら、オリジナル商品をさらに充実させ販売に努める。 ・令和5年4月に営業再開し、売上、満足度ともに向上している。 ・引き続き、利用者の意見を反映させた運営を行う。	
				<意見・要望等> ・対応が親切。 ・スタッフのお声掛けもあり好印象。 ・最高です。			

総合評価 (各評価項目の平均)	〈満足度〉71.5%	〈満足度〉	〈満足度〉83.1%	評価 (②満足度)	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年5月の新型コロナウイルス感染症にかかる制限緩和を受け、国外からの来館が増えたことが、売店等の増収に繋がった。 	<ul style="list-style-type: none"> 満足度は前年度から向上している。 引き続き利用者のニーズへの対応と、利便性の向上を図る。 新型コロナウイルス感染症制限緩和を受けインバウンドを含む利用者の増加が見られるため、引き続き工夫を行う必要がある。
				A		

※評価項目については、施設の態様に応じて適宜設定すること。
 ※「現状分析・課題」欄は具体的に記入すること。

※満足度とは、指定管理者が提供するサービスに対する利用者の満足度のことをいうものとし、回答選択肢のうち、中位を超える割合により算定するものとする。

【評価基準（②満足度）】

総合評価においては各評価項目の満足度の平均
 各評価項目においてはそれぞれの満足度
 S：90%以上
 A：80%以上、90%未満
 B：70%以上、80%未満
 C：70%未満

Ⅱ. サービスの質の確認・評価 取組改善案	<p>施設の利用における満足度については全体的に高い評価を得ている。満足度の低い項目については、利用者の意見やニーズを踏まえて改善等を行い、利便性の向上を図る。引き続き、アンケートを実施し、必要に応じ団体利用者へのヒアリングを行うなど、ニーズの把握に努める。 (売店は、令和5年4月から店舗販売を再開。)</p>
--------------------------	---

※「Ⅱ. サービスの質の確認・評価」の各項目の「現状分析・課題」等を踏まえて、現年度(a+1年度)の主な取組改善案を記入すること。

III. 財務状況の確認・評価

1. 収支

(1) 収入

収入項目		令和4年度 実績	令和5年度 事業計画(当初)	事業計画 (変更後)	令和5年度 実績	前年比 (%)	計画比 (%)	特記事項(変更理由等)
利用料金収入	道場施設	14,851	14,302		18,361	123.6	128.4	
	展示施設	1,017	2,168		1,835	180.4	84.6	
	計	15,868	16,470		20,196	127.3	122.6	
指定管理料		60,105	56,218		56,218	93.5	100.0	
自主事業収入	レストラン	8,149	6,000		9,021	110.7	150.4	
	売店	5,069	6,000		11,670	230.2	194.5	
	空手体験プログラム	188	1000		1,246	662.8	124.6	
	その他(セミナー等)	7,677	1000		6,228	81.1	622.8	
	計	21,083	14,000		28,165	133.6	201.2	
	その他	11,745	0		312	2.7	—	自販機電気料等
その他 計		11,745	0		312	2.7	—	
合計(A)		108,801	86,688		104,891	96.4	121.0	
〈現状分析・課題〉								
新型コロナウイルス感染症の5類移行による催事の再開、施設利用料金改定等が利用料金の収入に繋がった。自主事業では、新メニューの開発やLINEを活用したクーポン等の配布によるリピーター獲得への工夫をした他、売店の店舗販売に力を入れたこと等が、増収に繋がった。								

(2) 支出

支出項目	令和4年度 実績	令和5年度 事業計画(当初)	事業計画 (変更後)	令和5年度 実績	前年比 (%)	計画比 (%)	特記事項 (変更理由等)	
人件費	21,724	13,280		21,413	98.6	161.2	給与・諸手当等含む	
修繕費	391	500		911	233.0	182.2		
光熱水費	17,921	18,020		16,124	90.0	89.5		
委託費・管理費	40,169	37,000		38,981	97.0	105.4		
交際費	139	100		17	12.2	17.0		
消耗品費	1,278	1,115		1,481	115.9	132.8		
広報宣伝費	1459	100		20	1.4	20.0		
旅費交通費	126	350		61	48.4	17.4		
賃借料(リース)	3,007	3,000		3,140	104.4	104.7		
減価償却費	2,125	858		2,352	110.7	274.1		
印刷製本費	426	435		408	95.8	93.8		
通信運搬費	779	750		883	113.4	117.7		
商品仕入費	12,677	7200		12,869	101.5	178.7		
雑費	36	100		30	83.3	30.0		
保険料	343	326		343	100.0	105.2		
備品購入費	0	100		0	—	0.0		
支払手数料	3142	200		917	29.2	458.5		
謝金	3053	1454		1,221	40.0	84.0		
諸会費	10	0		0	0.0	—		
寄付	92	0		101	109.8	—		
公租公課	2,197	1,800		3,295	150.0	183.1	消費税込み	
福利厚生費	0	0		22	—	—		
合計(B)	111,094	86,688		104,589	94.1	120.6		
〈現状分析・課題〉								
修繕費の支出が多かった他、社会情勢により商品仕入額が増大、それに伴い支払手数料も増加した。水道光熱費は、国事業による補助等により令和5年度は計画内となった。								

※「事業計画」欄は、当初の年間事業計画を記載するものとし、変更した場合には変更後の内容も記載すること。計画比は事業計画(当初)と比較する。

※「現状分析・課題」欄は具体的に記入すること。

2. 経営分析指標

評価指標	令和4年度 実績	令和5年度 事業計画(当初)	事業計画 (変更後)	令和5年度 実績	前年比 (%)	計画比 (%)	特記事項(変更理由等)
事業収支(C) (収入(A)-支出(B))	-2,291千円	0千円		304千円	-13.3%	-	
収益率 (事業収支(C)/収入合計(A))	-2.1%	0.0%		0.3%	-13.8%	-	
利用料金比率 (利用料金収入/収入合計(A))	14.6%	19.0%		19.3%	131.9%	101.3%	
人件費比率 (人件費/支出(B))	19.6%	15.3%		20.5%	104.5%	133.6%	
外部委託費比率 (外部委託費合計/支出(B))	36.2%	42.7%		37.3%	103.0%	87.3%	
利用者あたり管理コスト (支出(B)/利用者数)	1,595.7円	528.6円		1,003.7円	62.9%	189.9%	
利用者あたり自治体負担コスト (指定管理料/利用者数)	863.3円	342.8円		539.5円	62.5%	157.4%	
〈現状分析・課題〉							
事業収支は黒字化している。社会情勢からくる原油価格の高騰は令和5年度は国の支援策によりインパクトを吸収していたが、引き続きコスト減など運営の見直しを行い、改善に努める。							

※「事業計画」欄は、当初の年間事業計画を記載するものとし、変更した場合には変更後の内容も記載すること。計画比は事業計画(当初)と比較する。

※「現状分析・課題」欄は具体的に記入すること。

評価(③財務状況)	A
-----------	---

【評価基準(③財務状況)】
 収益率(事業収支/収入合計)
 A: 0%以上
 B: -5%以上、0%未満
 C: -5%未満

III. 財務状況の確認・評価 取組改善案	各事業での経費等の見直しや収益確保の工夫等を行い、事業全体として収支均衡に向けた取り組みを図る。また、施設利用者の利便性向上等に励みながら、効果的な宣伝PRを通して誘客に努める。
--------------------------	---

※「III. 財務状況の確認・評価」の各項目の「現状分析・課題」等を踏まえて、現年度(α+1年度)の主な取組改善案を記入すること。

【経営分析指標の評価の考え方】

評価指標	計算方法	評価の考え方
事業収支	収入-支出	事業収支がマイナスの場合、継続性の面で課題となるため、県、指定管理者で協力して黒字化のための方策を協議する必要がある。 ※計画や過年度実績に対し変動がある場合には、その要因を整理すること。
収益率	事業収支/収入	計画、過年度実績、類似施設と比較して、安定したものとなっているか、適切な範囲内となっているか確認する。 ※計画や過年度実績に対し変動がある場合には、その要因を整理すること。 ※計画等に対し上昇している場合、必要な変動費が十分に充てられているか確認すること。また、計画等に対し減少している場合、当初の収支見込が適切であったか精査すること。
利用料金比率	利用料金収入/収入	指定管理者の主な収入源がどこにあり、それが安定したものであるのかを確認する。 ※過年度実績に対し増減がある場合には、利用料金そのものの増減によるものか、自主事業等その他収入の増減によるものかなど、その要因を整理すること。
人件費比率	人件費/支出	過年度実績や類似施設と比較して、適切な範囲内となっているか確認する。 ※変動がある場合には、人件費そのものの増減によるものか、その他支出項目の増減によるものか、その要因を整理すること。 ※人件費の減少がある場合には、それにより効率が低下していないかを確認する。また、人件費の増加がある場合には、求められる管理水準に対し必要な措置か確認すること。
外部委託費比率	外部委託費合計/支出	過年度実績や類似施設と比較して、適切な範囲内となっているか確認する。 ※増減がある場合には、外部委託の範囲が仕様書等に定める適切な範囲内となっているか、外部委託の活用が業務の効率化に繋がっているか確認する。
利用者あたり管理コスト	支出/利用者数	利用者1人に対する管理コストについて、過年度実績や類似施設と比較することにより、当該施設の効率性を確認する。(コストが抑えられていても利用者が減少していないか、あるいは利用者は増加しているがコストがかかり過ぎていないかなど) ※変動がある場合には、その要因を整理すること。 ※過年度に対し上昇している場合、現状の利用者数に対して支出が過大になっていないか確認する。また、過年度に対し減少している場合、現状の利用者数に対し、必要な変動費が十分に充てられているか確認する。
利用者あたり自治体負担コスト	指定管理料/利用者数	利用者1人に対する県の財政負担を確認する。 過年度実績や類似施設との比較により、当該施設の効率性を確認する。

IV. 総合評価

1. 目標

9000人ずつ増

評価項目	評価指標	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	目標設定の考え方
成果指標	①利用状況	利用者数 88,476人	92,890人	97,525人	—	—
	②満足度	満足度 90%	90%	90%	90%	—
財務指標	③財務状況	収益率 0.3%	0.3%	0.3%	0.3%	—

2. 評価結果

評価項目	評価指標	令和4年度実績	令和5年度事業計画(目標値)	令和5年度実績	計画比		現状分析・課題	評価(点数)	取組改善案	令和6年度目標値
					前年比	計画比				
成果指標	①利用状況	利用者数 68,530人	88,476人	104,203人	152.1%	117.8%	・新型コロナウイルス感染症による利用制限の緩和(共同利用再開、利用人数緩和等)や当日受付等の柔軟な対応により利用者は前年度より増加しているが引き続き集客の取組が必要である。	S (20)	ターゲット層に応じた各種メディアにおける広報などに取り組み、集客を図る。	92,890人
	②満足度	満足度 71.5%	90%	83.1%	116.2%	92.3%	・新型コロナウイルス感染症による利用制限の緩和により県外からの来館・アンケート回答が増加している。	A (10)	引き続きアンケートによる顧客の要望の吸い上げを行い、満足度向上に向けて取り組んでいく。	90%
財務指標	③財務状況	収益率 -2.1%	0.3%	0.3%	-14.3%	100.0%	・新型コロナウイルス感染症による利用制限緩和による来客増により収益率は改善している。	B (0)	事業の継続性を確保する観点から、引き続き事業収支の改善を図る。懸案事項としては、光熱水費等物価の高騰がある。	0.3%
活動指標	④重点取組事項	自主事業(売店・レストラン) ・レストラン満足度 77.4% ・売店満足度 53.4%	—	・レストラン満足度 77.9% ・売店満足度 77.2%	—	—	・レストランの顧客満足度向上のための営業時間やメニュー開発等様々な観点から取り組む必要がある。	—	・売店については、引き続き、オンラインストアと実店舗双方を活用し幅広い客層に対応できるよう取り組む。 ・レストランについては、顧客の要望を十分に吸い上げ、様々な観点から満足度向上に向けた取組をする必要がある。	—

総合評価	コロナウイルス感染症による各種制限の緩和による利用者数の増があり、満足度も向上している点は評価できる。光熱水費高騰によるコスト増については、令和5年度には国の支援策により影響を押しえられたが、今後も物価高騰に対処していく必要がある。収益に関して、自主事業への取り組みにも力を入れており、今後、県外・国外からの観光客等の来館者増が見込まれる中で、より充実した運営を行う必要がある。	A (30)
------	---	-----------

※重点取組事項の「評価指標」には具体的な取組内容を記載すること。

※「総合評価欄」には、モニタリングの実施結果に基づき、施設の管理運営が適正に行われているか所見を記載すること。

※「現状分析・課題」、「取組改善案」は6-I～IIIから転記する。

※「α+1年度目標値」は、「取組改善案」を踏まえ、現年度の目標を可能な限り数値目標として設定する。

【評価基準】

①利用状況

目標値に対する達成率

- S：110%以上
- A：100%以上、110%未満
- B：80%以上、100%未満
- C：80%未満

②満足度

総合評価における満足度（各評価項目の平均値）

- S：90%以上
- A：80%以上、90%未満
- B：70%以上、80%未満
- C：70%未満

③財務状況

収益率（事業収支／収入合計）

- A：0%以上
- B：-5%以上、0%未満
- C：-5%未満

④重点取組事項

目標に対する評価

- S：目標を大きく上回る
- A：目標を概ね達成
- B：目標を下回る
- C：目標を大きく下回る

【各評価項目点数】

	① 利用状況	② 満足度	③ 財務状況	④ 重点 取組事項
S	20	20	—	10
A	10	10	5	5
B	0	0	0	0
C	-10	-10	-5	-5

【総合評価基準】

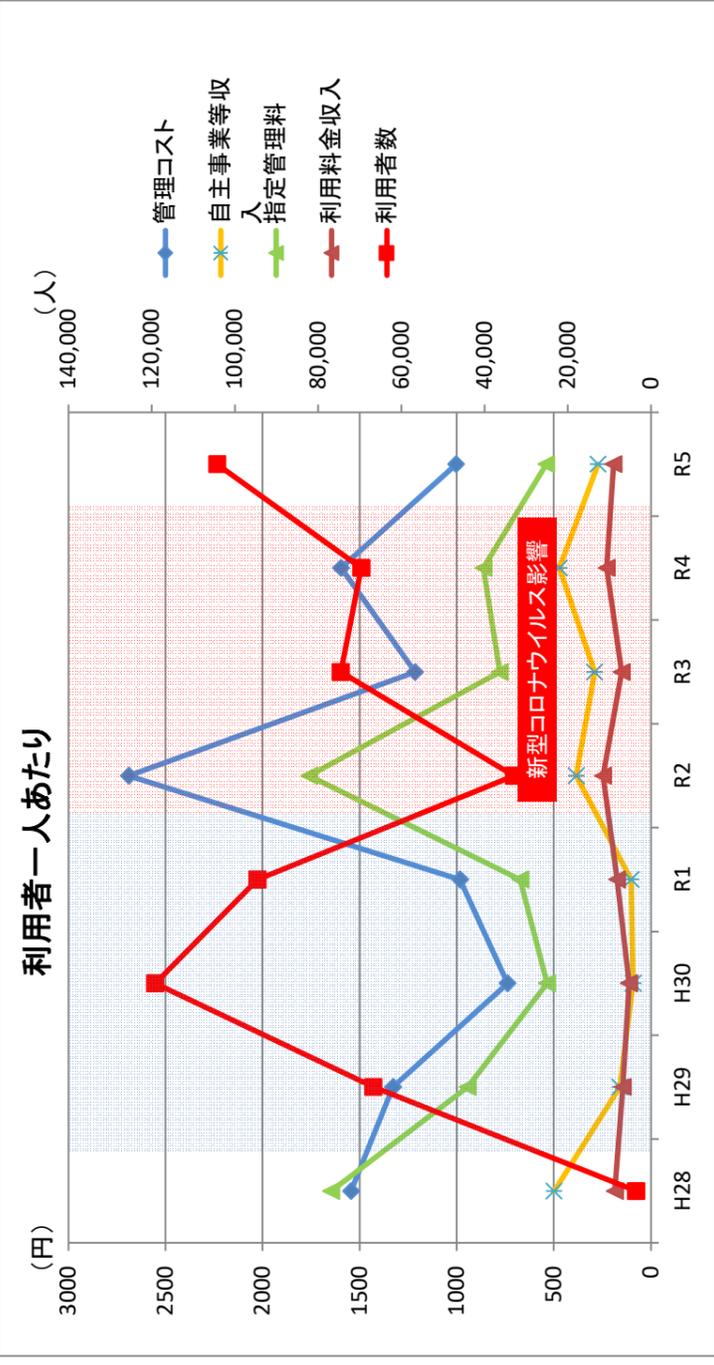
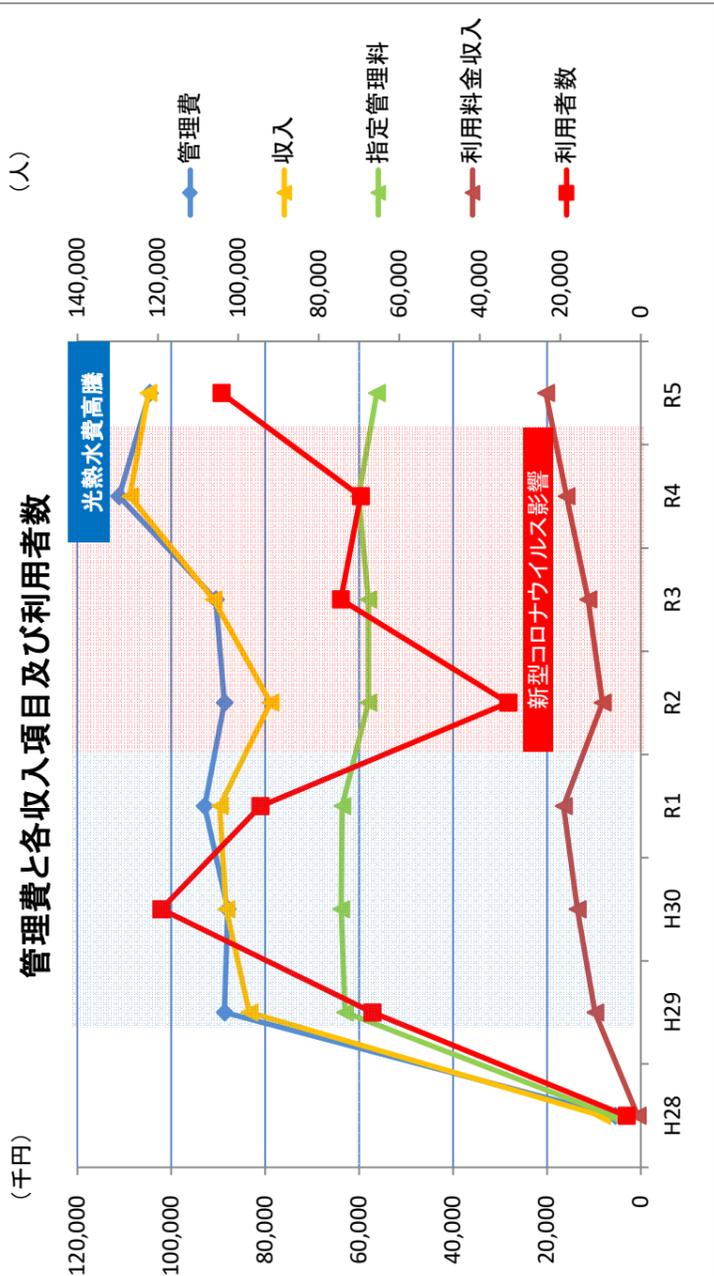
	総合評価基準
S	40点以上 かつ各評価項目において C評価がないこと
A	25点以上
B	10点以上
C	5点以下

経営状況分析シート【施設名称：沖縄空手会館】

指標	11月未満																						
	単位	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
成果指標	利用者数	人														128,000	137,000	146,000	155,000	88,476	92,890	97,525	-
	実績	人											3,560	66,730	119,140	94,561	32,965	74,535	69,621	104,203	-	-	-
財務指標	目標比	%														73.9%	24.1%	51.1%	44.9%	117.8%	-	-	-
	H29比	%														179%	49.4%	111.7%	104%	156%	-	-	-
/単位	指定管理料	千円														63,583	58,026	58,026	60,105	56,218	-	-	-
	県負担割合(指定管理料/管理費計)	%														72.5%	65.5%	64.1%	54.1%	53.8%	-	-	
	利用料金収入	千円														16,470	8,156	11,251	15,868	20,196	-	-	-
	利用料金比率(利用料金収入/収入計)	%														18.4%	10.3%	12.4%	14.6%	19.3%	-	-	
	収入計	千円														89,693	78,876	90,985	108,802	104,893	-	-	
	管理費計	千円														92,920	88,640	90,532	111,093	104,588	-	-	
	収支	千円														-3,227	-9,764	453	-2,291	305	-	-	
	収益率(収支/収入計)	%														-3.6%	-12.4%	0.5%	-2.1%	0.3%	-	-	
	一人あたり管理コスト	円														294	2689	1215	1596	1004	-	-	
	一人あたり自主事業収入	円														102	385	291	472	273	-	-	
一人あたり指定管理料	円														672	1760	779	803	540	-	-		
一人あたり利用料金収入	円														174	247	151	228	194	-	-		

※沖縄空手会館 供用開始
平成29年3月4日～

※施設の特性に応じて、経営状況の分析に適した指標の追加・削除や、表示方法の修正を行うこと。
※グラフは直近10年間の実績で作成すること。指定管理者制度導入前に直営の期間がある施設については、指定管理者制度導入直前1年間のデータも含めて作成すること。
※令和5年度より指定管理者変更に伴い利用者数目標を見直し。



実績変動の要因分析

令和5年度	新型コロナウイルス感染症拡大防止のための規制が緩和され、利用者数・利用料金は前年度に引き続き回復傾向にある。光熱水費は引き続き増大傾向にあるが、国の支援策により令和5年度については影響は抑えられている。
令和4年度	新型コロナウイルス感染症拡大防止のための規制が緩和され、展示施設については利用者数増となったことから利用料金は回復傾向、自主事業を含む収入は大幅増(過去最高額)となった。一方、光熱水費増の影響が大きく、収支は赤字となっている。
令和3年度	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、施設の一部利用制限等の影響により、利用者数が伸び悩んだ。
令和2年度	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、施設の一部利用制限等の影響により、利用者数が大幅に減少した。
令和元年度	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、施設の一部利用制限を行ったため、利用者数が減少した。